

企画展

# 内原野

## 炎の軌跡

Trajectory of Flame

令和4年4月2日(土)

5月29日(日)

◆ 開館時間 午前9時～午後5時

◆ 休館日 毎週月曜日

◆ 入館料 一般330円 中学生110円

小学生50円



和田 守弘 「鉄釉水指」



井内 芳樹 「風文壺」



西邨 滋 「象嵌つわぶぎ連器」



### 安芸市立 歴史民俗資料館

〒784-0042 高知県安芸市土居953番地イ  
TEL・FAX 0887-34-3706  
Eメール akirekimin@city.aki.lg.jp  
http://www.city.aki.kochi.jp/rekimin/

◆後援／高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・  
KSS高知さんさんテレビ・NHK高知放送局・  
KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知



企画展

# 内原野

Trajectory of flame

## 炎の軌跡

この企画展では、内原野焼の始まりを伝える文書や焼物、写真などから内原野焼の歴史を振り返り、内原野の今を紹介します。

### ◆内原野焼の始まり

内原野焼は、江戸時代の土佐藩家老五藤家が京都などから陶工を招き、文政12年(1829)頃から始まったといわれています。



内原野図(明治時代)



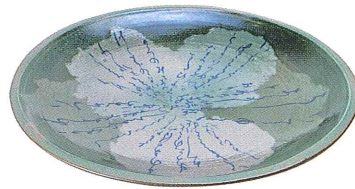
大甕  
(江戸時代末期)

### ◆明治から昭和初期の内原野

庶民の生活に必要な酒徳利や水甕、すり鉢、片口、おろし皿などの生活雑器が盛んに作られました。



野村窯、福留窯の製品



福留 禮二郎  
「絵文字大皿」



小原 努  
「焼の花入」



西邨 滋  
「群葉紋筒花器」



和田 守弘  
「鉄釉水指」

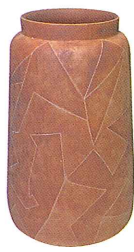


井内 芳樹  
「藍彩風文壺」

◆内原野に新風  
昭和42年から44年にかけて、京都芸術大学卒業の陶芸家が内原野にはいり、内原野焼に新風を吹き込みました。



ガラス工芸  
岡崎 壮「石の花」



吉良 博  
「幾何文壺」



福留 亮子  
「藍彩面取花器」



中村 あゆみ  
「サーカス」



西邨 出「皿鉢」



井内 浩子「どら鉢」



樋口 慶子「朝霧」

### ◆内原野の今

技法や表現も多様化し、陶芸だけでなく、ガラス工芸も作られるなど、内原野に工芸の火は燃え続け発展しています。

手作り登り窯  
フェスタ

●日時 / 4月10日◎・17日◎・24日◎ 10時～15時

内原野陶芸館にて、通常の陶芸体験に加え特別体験(ハーバリウム作り、キャンドル作り)を実施。駐車場スペースでは安芸市グルメ販売もあります。